

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市北部身体障害者福祉会館及びわーくす高津	評価対象年度	平成26年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人 育桜福祉会 ・代表者名 理事長 生亀 洋子 ・住所 中原区西加瀬10-3	評価者	障害福祉課長 障害計画課長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害福祉課・障害計画課

2. 事業実績

利用実績	<p>【北身館】 〔講習会・ボランティア育成事業〕 ・手話入門(昼):全7回 20名 ・朗読入門:全5回 20名 〔作業室〕 ・在籍数:生活介護 22名(定員20名)</p> <p>・入門点字:全5回 25名 ・視覚障害者への理解:全2回 20名</p> <p>・拡大写本入門:全6回 6名</p> <p>【わーくす高津】 ・在籍数:就労継続B 33名(定員30名)</p>																																															
収支実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">身障会館全体 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>収入</td><td>70,413,946</td></tr> <tr><td> 委託料</td><td>21,409,404</td></tr> <tr><td> 利用料他</td><td>47,070,867</td></tr> <tr><td> その他</td><td>1,933,675</td></tr> <tr><td>支出</td><td>63,459,410</td></tr> <tr><td> 人件費</td><td>47,882,338</td></tr> <tr><td> 事務費</td><td>7,670,500</td></tr> <tr><td> 事業費</td><td>4,823,120</td></tr> <tr><td> その他</td><td>3,083,452</td></tr> <tr><td>差額</td><td>6,954,536</td></tr> </tbody> </table>	身障会館全体 (円)		収入	70,413,946	委託料	21,409,404	利用料他	47,070,867	その他	1,933,675	支出	63,459,410	人件費	47,882,338	事務費	7,670,500	事業費	4,823,120	その他	3,083,452	差額	6,954,536	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">わーくす高津 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>収入</td><td>62,859,619</td></tr> <tr><td> 就労支援事業</td><td>3,595,720</td></tr> <tr><td> 自立支援費等</td><td>58,205,045</td></tr> <tr><td> その他</td><td>1,058,854</td></tr> <tr><td>支出</td><td>47,616,019</td></tr> <tr><td> 就労支援事業</td><td>3,595,720</td></tr> <tr><td> 人件費</td><td>32,514,666</td></tr> <tr><td> 事務費</td><td>5,665,443</td></tr> <tr><td> 事業費</td><td>5,381,567</td></tr> <tr><td> その他</td><td>458,623</td></tr> <tr><td>差額</td><td>15,243,600</td></tr> </tbody> </table>	わーくす高津 (円)		収入	62,859,619	就労支援事業	3,595,720	自立支援費等	58,205,045	その他	1,058,854	支出	47,616,019	就労支援事業	3,595,720	人件費	32,514,666	事務費	5,665,443	事業費	5,381,567	その他	458,623	差額	15,243,600
身障会館全体 (円)																																																
収入	70,413,946																																															
委託料	21,409,404																																															
利用料他	47,070,867																																															
その他	1,933,675																																															
支出	63,459,410																																															
人件費	47,882,338																																															
事務費	7,670,500																																															
事業費	4,823,120																																															
その他	3,083,452																																															
差額	6,954,536																																															
わーくす高津 (円)																																																
収入	62,859,619																																															
就労支援事業	3,595,720																																															
自立支援費等	58,205,045																																															
その他	1,058,854																																															
支出	47,616,019																																															
就労支援事業	3,595,720																																															
人件費	32,514,666																																															
事務費	5,665,443																																															
事業費	5,381,567																																															
その他	458,623																																															
差額	15,243,600																																															
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者満足度調査を踏まえ、館内の点字シートの設置、外灯のLEDへの交換、OHC購入など、老朽化の目立つ付属品や設備面での点検、修繕、買換え等を計画的に進めている。 ・月1度のバザー開催、地域清掃、地域交流事業において近隣商店街や近隣中学校とのコラボレーション、近隣小学校の学習会への参加など、地域でのつながりを大切に活動を実践している。 ・会館・作業室・わーくす高津が一体的に運営されることにより、各利用者の状況・ニーズを全職員が共有し、必要な情報や支援を提供し合うことで、質・量ともに十分なサービスが提供できている。 																																															

3. 評価 (評価段階:5~1,標準:3,加点割合:5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%)

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
(評価の理由) ・会館では、会議室の利用率向上に向けた取り組みとして貸出時間帯を工夫したほか、地域交流事業における近隣の飲食店からの協力取り付け、地域で引きこもっている身体障害者を対象とした書道等の教室を開催した。福祉バス受付業務においては、FAXを用いて予約受付の確認通知を開始。利用者とのトラブルを未然に防止できるよう努めた。 ・作業室では、利用者の高齢化・障害重度化を受け、利用者への買い物支援等、個別のサポートを実施している。また、社会参加の一環として、製品の直接販売の場を提供することにより、買側側の反応や評価を肌で感じられる機会を設けている。 ・わーくすでは、市の障害者雇用・就労推進課と共同で、川崎国際多摩川マラソンに利用者がボランティアスタッフとして参加し、給水所の水の準備、ランナーへの手渡し、応援用うちわの配布等、他のボランティアに混ざり、笑顔での体験となった。					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	4	4	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
(評価の理由) ・概ね良好な収支状況である。会計処理についても適正に行われており、簡易担架等の防災用備品の購入など計画的に進められている。 ・年2回の監事監査会の開催、年3回の公認会計士による自主監査を実施し、第三者によるチェック体制が整えられている。					

サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		利用者への支援を適切かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	4	4	
	利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者満足度調査等の活用により利用者からの意見・要望を広く受け止め、業務の改善や備品の購入、施設の整備に取り組むなど、サービス向上に向けた取組みがなされている。また、平成26年度からは、会館利用申請書に意見を求める欄を作成するなど、より利用者の意見を集めやすい工夫がなされている。 わーくすでは、障害の重度化に対応するため、職員のスケジュールをホワイトボードに記載することで、一目で全体の動きが分かるように工夫した結果、より支援を必要としているところへの協力がスムーズにできるようになり、チームとしての機能が向上した。 					
組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	4	4
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	4	4
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)			
	コンプライアンス	緊急時の連絡体制を構築しているか	5	4	4
		法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか			
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3	
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ヒヤリハット・事故発生と事後対応マニュアル」及び「危機対応マニュアル」に基づき、安全確保と環境整備を図っている。 危機対応マニュアルが整備されている。また、各施設で毎月行っている防災訓練の他に、施設合同で訓練を実施しており、緊急時の適切な対応が可能となるような体制が構築されている。 災害への備えを強化し、会館外に防災備品を保管するための倉庫を設置することで、老朽化した建物が被害を受けた際も取り出ししやすいよう配慮したほか、会館玄関等の外灯、避難誘導等の修理・交換を行うことにより防犯・防災上の効果を上げている。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	4	4
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> わーくす高津では、老朽化したテーブルやブラインド等を取り替えたことで、作業場のリラックス、食事をおいしく味わえる環境作りに繋がり、利用者から好評を得ている。また、会館として、その他の設備の不具合についても、市と連携し、計画的に整備を進めている。 個人情報についても、取扱いに配慮し、個人情報保護方針及び個人情報保護規定に基づき適正に管理されている。 					

4. 総合評価

評価点合計	73	評価ランク	B
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A→E/標準:C/A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満
A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

- 会館の貸出時間帯の工夫による利用率向上への取り組みや、恵まれた立地条件を生かしての地域交流に積極的に取り組んでいる。
- わーくす高津では、利用者の障害特性や適性を踏まえてできる工程を分担し、就労を目指す利用者にはできること+αができるよう支援に取り組んでいる。社会的経験の拡大や、就労等の意欲を引き出すための企業見学、実習等に協力してもらえらる企業の開拓に加え、利用者がボランティアスタッフとして参加するなどの新たな取り組みへの参加、作業外での余暇を充実させるなど、利用者の可能性を広げる支援に取り組んだ。
- 地域清掃や区民ミニガーデン、バザー開催等で、利用者が地域の人に顔を見せる関係が育まれており、また、小学校において作業室の利用者が講師として話をするなど、近隣小中学校、商店街等とも交流が結ばれている点は評価できる。
- 館長会議等を通じて他会館との意見交換・情報共有を定期的に行い、より良い会館運営に向けた検討を図っている点は評価できる。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

- 施設の老朽化が進んでいるため、引き続き定期的な点検を行い、適切な維持管理に努めること。